

新規・継続等	新規	分野	荒廃山地の復旧等の治山		事業番号	4	事業名	山地治山(林地荒廃防止)			
市町村名	飯田市		ふりがな 箇所名	ほろぜんじ 法全寺			事業年度 (完了年度は見込み)	H23	年度~	H24	年度
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	山腹工0.20ha 暗渠工(集水ホ-リング)300m、実播工400㎡					H22年度末事業進捗率	0%			
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%			
	H23年度実施内容	山腹工0.20ha(実播工400㎡)					用地補償費ベース	-%			
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度	H23年度		H23年度以降残		
	事業費計(千円)	25,800		0		0	15,300		25,800		
財源内訳	国庫支出金	11,850		0		0	7,046		11,850		
	その他										
	県債	12,555		0		0	7,428		12,555		
	一般財源	1,395		0		0	826		1,395		
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			部	政策評価課		
								ランク	評点	ランク	評点
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上			1~9戸	0戸	B	5	B	5
		保全対象公共施設	2箇所以上			1箇所	なし		3		3
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設			一般施設	なし		0		0
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上			保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	保安林率30%未満		2		2
		小計							10		10
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上			災害履歴地	なし	A	5	A	5
		交通遮断による地域経済などへの影響	大			中	小		3		3
		防災計画上の位置づけ	あり			なし			5		5
		小計							13		13
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上			B/C1.0以上2.0未満	B/C1.0未満	A	10	A	10
		早期発現度	3年未満			3年以上5年未満	5年以上		7		7
		流域の総合調整	あり			なし			3		3
		小計							20		20
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満			50m以上200m未満	200m以上	A	4	A	4
		地形、地質の状況	火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形			火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯	その他		3		3
		平均床床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)			5°~10°未満(20~30°未満)	5°未満(20°未満)		3		3
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし			あり(概ね満砂)	あり(ポケットあり)		5		5
		危険地区危険度	Aランク			Bランク	Cランク		7		7
小計							22		22		
計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い			市町村要望有り	特に要望ない	A	10	A	10	
	事業情報の共有	関係者以外にも周知			関係者中心に周知	特に周知していない		3		3	
	住民参加の状況	住民が直接参加			住民市町村意見を反映	住民意見反映していない		3		3	
	小計							16		16	
費用対効果(B/C)		18.08		評価の合計			A	81	A	81	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	平成22年8月4日に地元住民から飯田市役所を通じて山腹崩壊箇所の情報提供があり、翌8月5日に現地調査を実施した。現在崩落土砂が直下の谷沢川に堆積していることから、下流への流出が懸念されている。また、崩壊範囲にはクラック等の確認もされ新たな拡大崩壊の恐れもあるため、早急な対策が望まれている。									
	地域からの要望経緯	地元住民からの情報提供により、飯田市林務課より現地調査の依頼があり、平成22年8月5日に調査を実施した。調査には飯田市の担当者の他に、土地所有者及び地元区長さんも参加した。									
	事業説明等の経緯	平成22年8月、調査結果を踏まえ、所有者及び地元区長さんに現地状況及び対策工案の内容等を説明									
	環境・景観への配慮項目	特になし。									
	他事業・プロジェクトとの関連	下方河川の管理者である飯田建設事務所と調整済み。飯田建設事務所によるH22工事実施(床固工)									
	特記事項	特になし。									
地域の合意形成		全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	河川に面した山腹斜面の地すべり性崩壊であり、移動土塊が河川を閉塞した場合、下流集落への重大な被害が想定されるため、河川管理者との連携により対応する必要性、緊急性が高い箇所である。				政策評価課意見	重要性、緊急性が認められる。					